

医療安全とインフォームドコンセント

第56回 医療と倫理を考える会・広島 例会

世話人 石川 澄 (広島大学病院 医療情報部)

平成23年 8月18日(木)

18:00~20:00

広仁会館 1階 中会議室

広島市南区霞 1-2-3 広島大学霞キャンパス内

講師: 菅田 智子 様

広島大学病院 医療安全管理部 副部長
兼 専任リスクマネジャー

講演要旨

医療安全管理部は、安全な医療を提供することを目的として、『広島大学病院における医療安全管理のための指針』に基づいて活動している。

その基本的な考え方、姿勢は『十分なIC（インフォームドコンセント）に基づく患者との良好な信頼関係のもとに、全人的医療を提供すること。』である。

患者の「自分自身が納得のできる医療を受けたい」という自己決定権を支援するため、患者の信条、宗教のいかに関わらず、医療側は出来る限り情報を公開し、患者による十分な理解を得た上で最良の医療ならびに看護を提供することを目的としたインフォームドコンセント。

それを行う上での、プロセスにおけるコミュニケーションの重要性について、問題提起する。

参加費：500円(資料代) / 学生無料

主催：医療と倫理を考える会 広島

後援：広島県、広島市 (申請中)

お問い合わせ・お申込み先

医療と倫理を考える会・広島 事務局 馬場

電話：(082) 257-5082 (直通) FAX：(082) 257-5084

E-mail：humind3@hiroshima-u.ac.jp

ホームページ<http://home.hiroshima-u.ac.jp/~humind1/iryou-rinri/>

